



鶯(うぐいす)の 吉野を出たる 初音かな

正岡子規

早いもので、新年がスタートして1ヶ月が過ぎました。

1月は、12月から始まった「青東なわとび週間」のまっただ中だったので、子どもたちは一生懸命縄跳びに取り組んでいました。新記録を出したい、いろいろな技で跳べるようになりたい等、子どもたちは自分で目標を立てながら、休み時間や昼休みを使って、練習をしていました。「青東なわとび週間」の中では、ペア学年の友だちと一緒に縄跳びをする時間も設けました。高学年の友だちから跳び方のコツを教わる低学年の姿、一生懸命応援をしながら、下級生が跳んだ回数を数える高学年の姿等、微笑ましい子どもたちの姿がたくさん見られました。

2月には、「6年生を送る会」、「委員会の引き継ぎ」等が計画をされており、今年度のまとめをするだけでなく、来年度へ向けた取り組みも始まってきます。

今月も引き続き、学校へのご理解とご協力をお願いいたします。

2月の主な行事予定



2	水	普通日課5時間 14:30下校	20	日	家読の日
4	金	学校公開日 13:30~14:15 (ライブ配信による授業参観) 普通日課5時間 14:30下校	22	火	6年生を送る会
8	火	新1年入学説明会 (資料配付・物品購入のみ)	23	水	天皇誕生日 学校安全の日
11	金	建国記念日	25	金	力だめし⑤・避難訓練
17	木	PTA 運営委員会(引き継ぎ会)	28	月	委員会活動・移動図書館

さくら連絡網「学校へ連絡」の内容の追加について



「学校へ連絡」の内容がこれまで、「欠席」、「遅刻」、「早退」でしたが、新たに「コロナ関連」を加えました。「コロナ関連」の連絡については、当日の21:00まで書き込むことができます。

新型コロナウイルス感染症について、以下のことが当てはまる場合は「さくら連絡網」でまずご連絡ください。

- ・本人または同居家族が陽性かその疑いがある場合
- ・本人または同居家族が濃厚接触者かその疑いがある場合

当てはまる項目にチェックをしていただき、備考欄に①~③の内容を記入してください。

- ① 誰が陽性者または濃厚接触者なのか
- ② 検査を受ける日時と検査を受ける病院名
- ③ 検査結果が出る日時

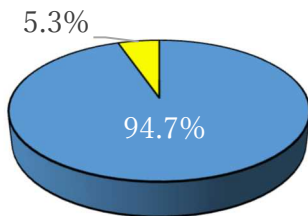
学校で内容を確認した後、連絡をさせていただきます。なお、週末や祝祭日に連絡していただいた場合は月曜日(祝祭日の場合は翌日)に連絡をさせていただきます。

令和3年度 学校生活アンケートの結果報告

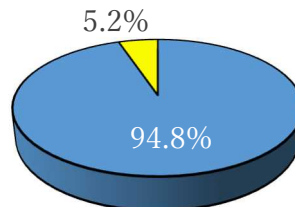
「令和3年度 学校生活アンケート」へのご協力ありがとうございました。児童・保護者アンケートの結果を分析しましたので、ご報告します。このアンケート結果から見える成果と課題を踏まえ、来年度の教育活動を計画していきます。

■ あてはまる ■ あてはまらない

- 1 学校が楽しい（児童） お子さんは楽しく学校に通っている。（保護者）



児童

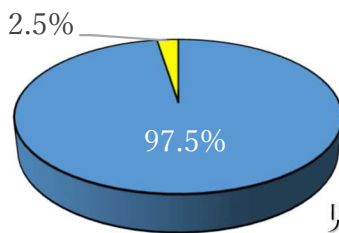


保護者

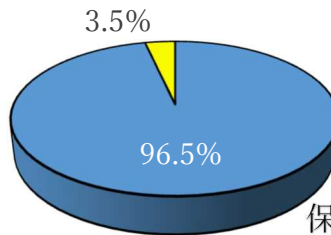


「学校が楽しい」「子どもは楽しく学校に通っている」と感じている児童・保護者の割合が、今年度も高い割合になりました。コロナ禍でできる活動は制限された面もありますが、昨年度の経験を生かして、できることの中で工夫して取り組んできた成果だと考えています。学校教育目標「笑顔あふれる学校」に向けて、今後も取り組んでいきたいと思ひます。

- 2 友だちと仲良く生活する（児童） お子さんは友だちと仲良く生活している（保護者）



児童

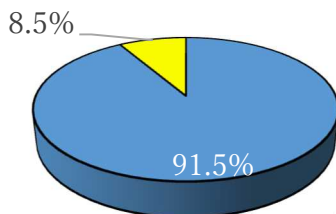


保護者

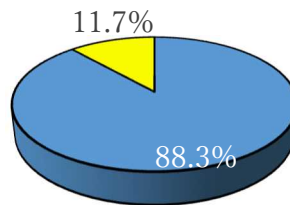


「友だちと仲良く生活している」と感じている割合が児童、保護者も非常に高い割合となりました。友だちと一緒に学んだり、生活したりしている中で、あたたかな心を実感してきたことの成果だと考えています。友だちに親切にすることはもちろん、友だちのあたたかい関わりに気付く心も子どもたちの中に育ってきています。

- 3 授業がよくわかる（児童） お子さんは授業の内容を理解している（保護者）



児童

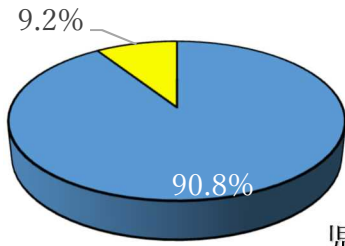


保護者



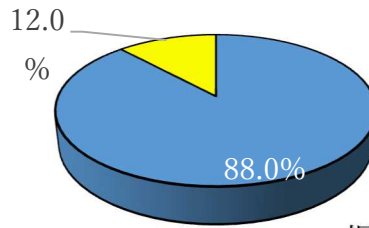
今年度から学校生活にゆとりを作り出すために、成績を2期制にしました。それによって、長期休業前もじっくりと授業に取り組むことができるようになりました。また今年度から1人に1台ずつタブレットを配布し、タブレットを使った授業にも取り組んできました。高学年では、タブレットを使うことで、学習内容が視覚的にわかりやすくなり、児童の理解を促すことにもつながりました。低学年では、タブレットを使いながら、楽しんでドリル学習に取り組む姿が見られました。今後も「学びを実感する授業」を目指し、学校全体で研修に取り組んでいきたいと思ひます。

4 あたたく聴くことができる (児童)



児童

5 やさしく話すことができる (児童)

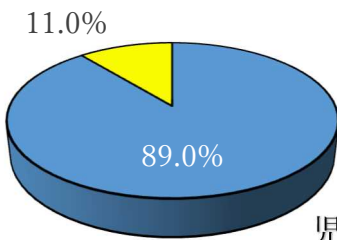


児童



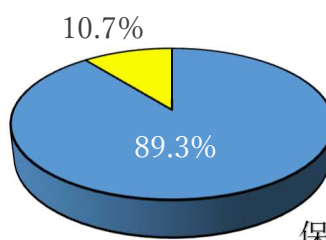
授業の様子を見ていると、話を聴いて内容を理解することはできるようになってきたと感じます。今後は、話を聴いて理解した内容を友だちに説明する力、自分の考えを友だちにわかりやすく伝える力を育成していきたいと考えています。話したり、書いたりして、相手に伝える力を育成することを授業の中でも大事にしていきます。

6 自分には良いところがある (児童)



児童

お子さんは、自分には良いところがあると感じている (保護者)

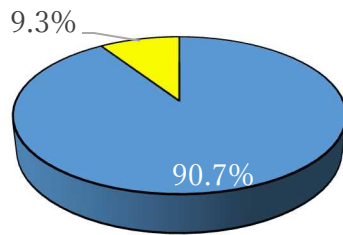


保護者



昨年度から、目標を立てる時に具体的な行動目標を立てるように指導をしてきました。具体的な行動目標を立てることによって、頑張ることがはっきりすると共に、できたという事実を実感しやすくなりました。できたという実感を日々生活の中でたくさん味わうことができたことが自己肯定感を高めることにつながったのだと考えます。また友だちから自分の良さを伝えてもらう機会も多く設定しているので、そのことも自己肯定感を高める上で大きく影響していると考えられます。

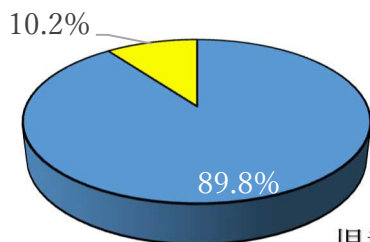
7 友だちの良いところを見つけている (児童)



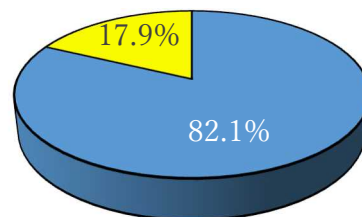
児童

帰りの会や行事が終わった後等、友だちの良さを伝える時間を作ってきました。そのような日々の取り組みを通して、「あたかな心を実感する」場を作ってきました。友だちの良さを見つけ、それを言葉で伝えられる子どもたちが増えてきています。

8 困った時に相談できる先生がいる (児童) 学校には困った時に相談できる先生がいる (保護者)



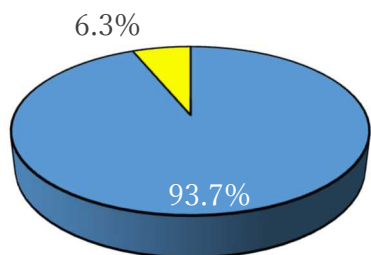
児童



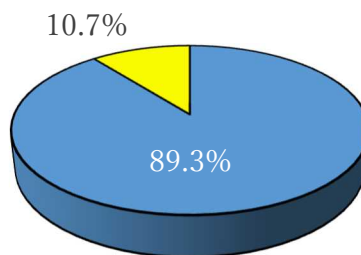
保護者

「困った時に相談できる先生がいる」と感じている児童・保護者が、年々増加傾向にあり嬉しく思います。(児童の回答: R1年 83.7%、R2年 87.0%、R3年 89.8%) 今後も「安心して学べる学校」を目指し、児童、保護者にとって相談しやすい環境作りに努めていきます。

9 週5日以上、家で勉強している（児童・保護者）



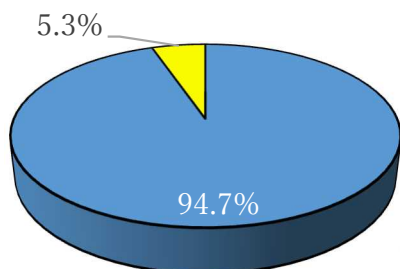
児童



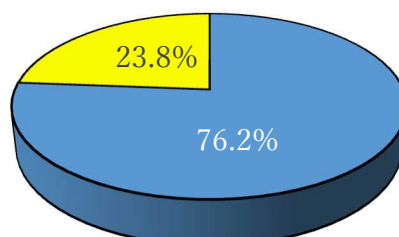
保護者

家庭での学習習慣が身につけている児童が93%以上います。家庭学習の習慣が定着している児童の割合は高いといえます。今後は、宿題だけでなく家庭学習の時間に読書をしたり、発展的な学習に自ら取り組んだりできるように啓発していきたいと考えています。

10 おはよう・こんにちは・さようならのあいさつが自分からできる（児童）
お子さんは、家庭や地域であいさつが自分からできる（保護者）



児童

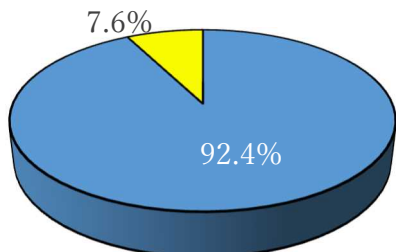


保護者

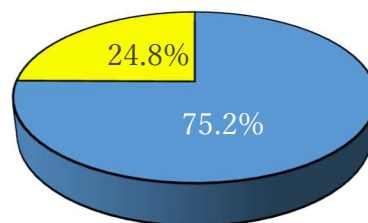
本年度は、児童会が中心となってあいさつキャンペーンに取り組みました。またコミュニティースクールの取り組みとして、学校運営協議会の方々による朝のあいさつ運動も行いました。それらの取り組み以降、あいさつに対する意識は高まってきました。このあいさつの盛り上がりが続くよう学校でも指導に取り組んでいきます。

11 夢や目標を持っている。（児童）

お子さんは夢や目標を持っている。（保護者）



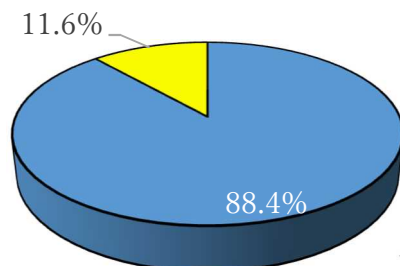
児童



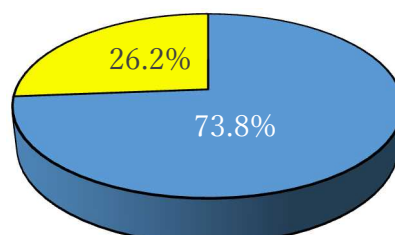
保護者

今年度からこの質問を追加しました。夢や目標は、短期的なものから長期的なものまでありますが、児童が自分の夢や目標に向かって自分でコツコツと取り組んだ事実気づき、自分の成長を実感できるように学校ではサポートしていきたいと考えています。

12 ゲーム機、スマートフォン、パソコン等を家の人との約束を守って使っている。（児童・保護者）



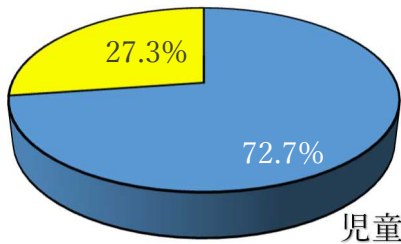
児童



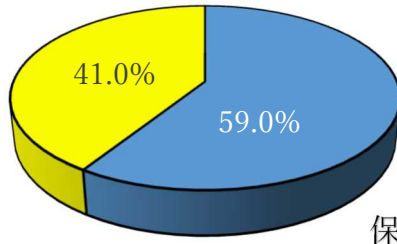
保護者

高学年では、外部講師による情報モラル講座の実施、その他の学年でも発達段階に応じた情報モラル指導を行っています。今後も、児童がゲーム機、スマホ、PC等とうまく向き合えるように、家庭や地域と連携しながら取り組んでいきます。

13 家読をしている（児童・保護者）



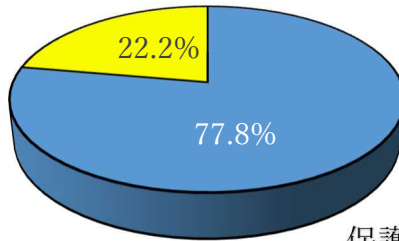
児童



保護者

青島地区小中学校では、毎月第3日曜日を「家読の日」としています。今後は週末の宿題に読書も取り入れる等して、本に親しむ機会を増やしていきたいと考えています。

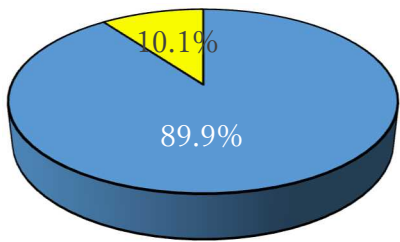
14 お子さんは子ども会や地域の行事に進んで参加している。（保護者）



保護者

コロナ禍で地域の行事活動も縮小していますが、地域の活動に積極的に参加することを推奨していきます。

15 学校は授業や学校行事など、保護者や地域に開かれた取り組みをしている。（保護者）

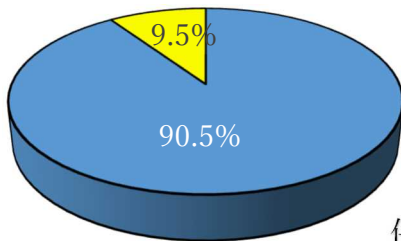


保護者

児童の成長・活躍を家庭・地域・学校が一体となって、実現したいと考えています。学校運営協議員をはじめ、地域の皆様のお力をお借りしながら、地域の自慢となるような学校づくりを進めていきます。



16 学校は学校だよりや学年だよりなどで、学校での子どもの様子を伝えている。（保護者）



保護者



今年度も学校便り、学年便り等で、児童の様子を伝えてきました。特に、今年度は学校便りを毎月「さくらメール」で配信することで、タイムリーかつどこでも見られるようにしてきました。今後も、いろいろな方法で学校の「見える化」を進めていきたいと考えています。

アンケートへのご協力ありがとうございました。
 児童、保護者、職員に実施したアンケート結果を見ると、昨年度に引き続き、コロナ禍ではありましたが、例年と同等またはそれ以上の数値が示されていました。
 来年度に向けて、今年度の取り組みの中から学んだものを生かして、笑顔あふれる学校の実現を目指し、取り組んでいきたいと思っています。引き続き、学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いします。